

最先端の科学を実感

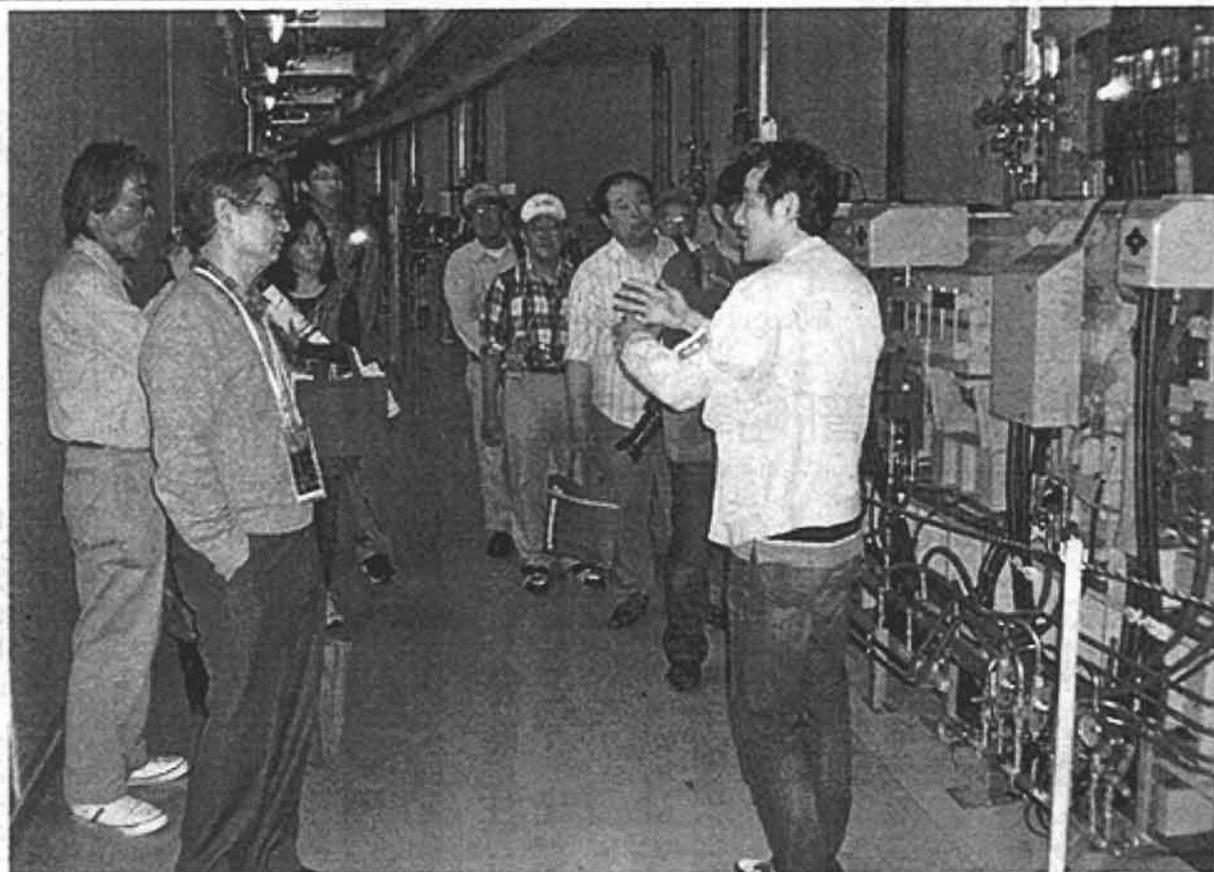
佐用町 さくらとスプリング8公開

理化学研究所の播磨研究所と高輝度光科学研究センター（JASRI）が30日、佐用町のエックス線自由電子レーザー施設「SACLARA（さくら）」と大型放射光施設「スプリング8」を一般公開した。日ごころ見られない設備が公開されるとあって、家族連れや学生らが大勢訪れた。

スプリング8では見学者らが1周約1・5キロのリング状の研究施設内を徒歩で回り、巨大さを実感。スタッフから放射光を生み出すビームラインの仕組みなどの説明を受けた。

また、3月に本格稼働を開始したさくらでは、エックス線自由電子レーザーを活用し、極微の世界を探究する設備も公開。新薬や新素材の開発などへの応用が期待でき、見学者らは最先端の科学技術に目を輝かせていた。

同級生らと訪れた岡山県



スプリング8の放射光発生装置の説明を受ける見学者ら 佐用町

立倉敷南高校2年、首藤啓孝さん(16)はスプリング8の放射光発生装置が印象に残ったといい、「科学を実感でき、勉強になった」と話していた。

H24. 5. 1

産経新聞

(播州・18面)